



4年生見学旅行

昨日28日(火)に、4年生は見学旅行に行きました。見学場所は、東区にあるごみ処分工場の「石坂グループ」と北区にある水に関する展示を主とした「水の科学館」でした。石坂グループでは、集められたゴミの処理工程やリサイクル原料・製品ができるまでの流れなどを実際に見て・触れて学べます。石坂グループは、3Rである、リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)の3つのRにいち早く取り組んだ会社です。空き缶リサイクルの工程では、空き缶の臭いの原因として飲み残しやタバコの吸い殻だと知り、「空き缶をきれいに洗って出そう。」という呟く声も聞かれました。子供たちも工場見学を通して、環境への意識が高まったと思います。

また、水の科学館では、熊本の美味しい水の秘密や、熊本市の水道の水源についてなど学びを深めることができました。施設の方からは、子供たちの見学態度がとてもよいと感心され、素晴らしい話の聞き方だとお褒めの言葉をいただきました。

4年生に見学旅行で伸びた心を聞いてみると「『帯西レッド』の心が伸びました。わけは、水のことをあまり考えて使っていなかったけど、これからは水を大切に使うように思ったからです。」「『帯西グリーン』の心が伸びました。わけは、友達と水の使用方法について調べてきて、今日も友達と一緒に見学して、いろいろなことが分かったからです。」「『帯西イエロー』の心が伸びました。わけは、たくさんの人々協力によって、ごみの分別がされて、暮らしやすくなっていることが分かったからです。」同じ体験活動でも子供たちの感じる心は様々です。見学旅行で学んだことをしっかりと生活の中に活かして欲しいと思います。



熱中症に注意!

昨日は、熊本にも梅雨明け宣言が出され、熊本市の気温もぐんぐん上がり、昼過ぎの時点で熱中症警戒アラートの「**嚴重注意**」が出されました。そこで、激しい運動などへの注意喚起を放送で呼びかけました。こまめな給水と帽子を被って、マスクを外して運動場で遊ぶように子供たちには伝えました。

また、報道等によりますと、熱中症で救急搬送される人も増えています。梅雨明けの急に暑くなったときは、身体がまだ暑さに慣れていないため上手に汗をかくことができず、放熱量が低くなり、体温をうまく調節できず熱中症にかかりやすいそうです。暑い日が続くと、次第に身体が暑さに慣れてくると言われています(暑熱順化)。

今後も、熱中症アラート情報に気を付けながら、運動活動の制限等の対策を立てていくことにします。

本日は「危険」が出されたために、昼休みの運動は中止しました。帽子を持って来ていない子供もいますので、帽子の準備も併せてお願いします。